

令和2年度
三条市幼児教育推進プラン実施状況
(3月末現在)

令和2年6月
三条市教育委員会 子育て支援課

- ※ 「小学校等」は市内小学校及び義務教育学校前期課程を指し、「中学校等」は市内中学校及び義務教育学校後期課程を指す。
- ※ [幼保・ア]は幼稚園及び保育所(園)のアンケート結果を、[小学・ア]は小学校のアンケート結果を、それぞれ示す。

《重点項目1》 幼児教育内容の一層の充実

施策(1) 「遊び」を通した豊かな教育活動

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																					
<p>① 運動遊びの推進(新規・強化)</p>	<p>【「運動遊び」の推進と研修】 保育所(園)における「運動遊び」に対する理解を深め、施設での実践につながるよう「三条市版運動遊びプログラム」活用の促進、また、子どもの日常生活にも取り入れられるよう、保護者への啓発を図った。</p> <p>●保育所(園)の研修及び実践活動 <u>○自然体験活動研修会</u> ・講師 小林 良範氏(にいがた里山研究会理事長) ・実施日 5/12(大崎山公園) 9/13(しらさぎ森林公園) ・内容 自然の知識、自然の中での発見、体験等、実地研修 ・参加者数 28人(年長児担任、その他希望者)</p> <p><u>○大崎山自然体験活動</u> ・公立保育所9施設において3回(春・秋・冬)ずつ実施 ※ 新型コロナウイルス感染拡大を受け…春の活動中止 クマの出没…10月末～12月の活動中止 ・実施施設…9月(2施設)、10月(3施設)</p> <p>●保護者への啓発 <u>○「三条版運動遊びプログラム家庭編」配布</u> ・時期 令和2年4月 ・対象 三条市内幼稚園、保育所(園)等の年少児保護者 ・配布数 784部 ・保育所(園)等の参観において運動遊びを紹介し、親子での運動遊びを実践</p>	<p>(運動遊びの研修と実践) 市作成の「三条版運動遊びプログラム」により、多様な動きが経験できるように様々な遊びを日常の実践に取り入れ、子ども達の体力向上や意欲を育むことに努めた。</p> <p>●「三条版運動遊びプログラム」の活用状況 <u>【幼保・ア】活用している保育者の割合</u></p> <table border="1" data-bbox="1308 715 2033 836"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>80%以上</th> <th>50～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>5 (16%)</td> <td>17 (55%)</td> <td>9 (29%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6 (19%)</td> <td>19 (62%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>【幼保・イ】「運動遊び」の意図的展開の状況</u> ※ 文部科学省「幼児期運動指針」では、「手伝い」等を含めて1日60分の運動を推奨 ※ 1日の設定保育時間内の運動遊びの平均 年少児20分以上、年中児25分以上、年長児30分以上</p> <table border="1" data-bbox="1308 1034 2033 1321"> <thead> <tr> <th>イ</th> <th>意図的な実施</th> <th>R2</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">年少児</td> <td>実施した</td> <td>27 (87%)</td> <td>28 (90%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>4 (13%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年中児</td> <td>実施した</td> <td>28 (90%)</td> <td>29 (93%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>3 (10%)</td> <td>2 (7%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年長児</td> <td>実施した</td> <td>29 (94%)</td> <td>28 (90%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>2 (6%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ア	80%以上	50～80%未満	50%未満	R2	5 (16%)	17 (55%)	9 (29%)	R1	6 (19%)	19 (62%)	6 (19%)	イ	意図的な実施	R2	R1	年少児	実施した	27 (87%)	28 (90%)	実施しなかった	4 (13%)	3 (10%)	年中児	実施した	28 (90%)	29 (93%)	実施しなかった	3 (10%)	2 (7%)	年長児	実施した	29 (94%)	28 (90%)	実施しなかった	2 (6%)	3 (10%)
ア	80%以上	50～80%未満	50%未満																																				
R2	5 (16%)	17 (55%)	9 (29%)																																				
R1	6 (19%)	19 (62%)	6 (19%)																																				
イ	意図的な実施	R2	R1																																				
年少児	実施した	27 (87%)	28 (90%)																																				
	実施しなかった	4 (13%)	3 (10%)																																				
年中児	実施した	28 (90%)	29 (93%)																																				
	実施しなかった	3 (10%)	2 (7%)																																				
年長児	実施した	29 (94%)	28 (90%)																																				
	実施しなかった	2 (6%)	3 (10%)																																				

- 「三条版運動遊びプログラム家庭編」周知
 - ・3歳児家庭教育講座を活用しての啓発

【幼保・ウ】 園内外の運動遊びの研修で学んだことを実践する

※ 研修の成果を実践したことがあるか。

ウ	R2	R1
実践している	24 (80%)	29 (94%)
実践していない	6 (20%)	2 (6%)

【幼保・エ】 「運動遊び」の保護者への啓発

三条版「運動遊びプログラム」家庭編を配布するとともに、家庭での実践につながるよう保育参観等で紹介した。

※ 啓発の方法（次のうちどれだけ実施したか。）

アンケート項目

- ・保育参観で「運動遊び」を公開 **(26%)**
- ・親子の「運動遊び」を紹介し実践する機会を持った。 **(9%)**
- ・「運動遊び」の大切さや園内の実践について保護者に説明 **(50%)**
- ・「運動遊び」の大切さや園内の実践について保護者へおたより **(70%)**

エ	3つ以上	1～2つ	啓発なし
R2	5 (16%)	22 (71%)	5 (13%)
R1	13 (42%)	17 (55%)	1 (3%)

【考察】

・全体としては、「三条版運動遊びプログラム」を用いる場面が少なくなっているが(ア)、保育活動における「運動遊び」の意図的な実践及び日常活動への自然な取り入れはおおむね浸透してきている(イ)・(ウ)。

・今年度は新型コロナウイルス感染拡大の為、取組が難しかった項目もあったが、おたよりや活動の様子を動画や写真に撮り保護者に回覧するなど各施設が工夫し、家庭での実践のため保護者への啓発を積極的に行っていた。

また、次年度は市主催の3歳児家庭教育講座を活用し、運動遊びの周知を図っていく。

・「運動遊び」を「実施・実践していない」とする施設が未だ存在する。その理由としては、園独自で体操教室を実施している、コロナ禍で活動が制限されたためという実情がアンケート結果からわかった。引き続き、施設での実践を促進していけるようコロナ禍での運

		<p>動遊びの取組について全体で共有していくとともに、運動プログラムと併せて県主催の運動遊びの研修等に参加を促し、各年齢に合わせた運動遊びの充実を図っていく。</p> <p>・運動遊びの効果については、小学校1年生入学時の体力テストの結果と比較し取組効果を図っていきたい。</p>												
<p>②指導計画の改善・充実 (継続)</p>	<p>【「保育のガイドライン」の活用状況の把握等】 国の保育所保育指針に基づき、平成30年3月に「保育のガイドライン」を作成した。このガイドラインの下、各保育所(園)において実践されるよう、個別・具体の取組等に係る相談や支援、並びに実施状況を確認した。 ※ 保育所(園)へのアンケートにより年度末に実施。結果は右記のとおり</p>	<p>【「保育のガイドライン」の活用】 市作成の「保育のガイドライン」について、各保育所(園)の実情に合わせて、保育計画の作成や保育実践の指針とした。</p> <p>● 「保育のガイドライン」を活用している保育者の状況</p> <p>【幼保・オ】 保育活動におけるガイドラインの活用度合い別の割合</p> <table border="1" data-bbox="1285 596 2123 719"> <thead> <tr> <th>オ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>15 (50%)</td> <td>11 (37%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>8 (26%)</td> <td>19 (61%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> </tbody> </table>	オ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R2	15 (50%)	11 (37%)	4 (13%)	R1	8 (26%)	19 (61%)	4 (13%)
オ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R2	15 (50%)	11 (37%)	4 (13%)											
R1	8 (26%)	19 (61%)	4 (13%)											
	<p>【「保育のガイドライン」等に基づく指導計画作成の支援】 公立保育所については、市で作成した「保育のガイドライン」に基づき各保育所において指導計画を作成後集約し内容確認を実施した。私立保育園については、同ガイドラインを指針としつつ各施設の考え方も織り交ぜながら指導計画を作成している。</p>	<p>【「保育のガイドライン」等に基づく指導計画作成、指導の実施・評価】 「保育のガイドライン」等に基づき、各施設において年間指導計画及び月間指導計画を作成した。また、月間指導計画については、実施状況の評価を行い、翌月の指導計画に反映させつつ運用した。</p> <p>【幼保・カ】 実施状況の評価を指導計画に反映したクラスの割合 (幼稚園教育要領等に基づく指導計画の作成・活用) ※ 幼稚園教育要領等：幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針</p> <table border="1" data-bbox="1285 1114 2123 1236"> <thead> <tr> <th>カ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (38%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19 (61%)</td> <td>11 (36%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	カ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R2	19 (61%)	12 (38%)	1 (3%)	R1	19 (61%)	11 (36%)	1 (3%)
カ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R2	19 (61%)	12 (38%)	1 (3%)											
R1	19 (61%)	11 (36%)	1 (3%)											

<p>③体験活動の充実（継続）</p>	<p>【保育所等と保護者への啓発・支援】 親子の触れ合いを含む体験活動の重要性について啓発するとともに、各保育所（園）における活動を支援した。</p> <p>●保育所（園）の研修及び実践活動 自然体験活動研修会の開催、大崎山自然体験活動における保護者ボランティアの参加勧誘 ※「①運動遊びの推進」のとおり</p>	<p>【豊かな体験活動の実施】 自然体験活動等、子ども達が五感を働かせ自然を楽しむ中で、気付きや好奇心を誘発し、普段とは異なる体の動きを促すとともに、保護者の参加により、保護者同士の交流や子どもとの交流を図った。 また、日常の保育の中でも園庭遊びや散歩を意図的に取り入れた。</p> <p>●自然体験活動の実施（※「①運動遊びの推進」のとおり） ●日常の保育における実践 【幼保・キ】 豊かな体験ができるよう様々な活動を工夫しているクラスの割合</p> <table border="1" data-bbox="1290 517 2119 639"> <thead> <tr> <th>キ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>20 (65%)</td> <td>9 (29%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20 (64%)</td> <td>11 (36%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	キ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R2	20 (65%)	9 (29%)	2 (6%)	R1	20 (64%)	11 (36%)	なし
キ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R2	20 (65%)	9 (29%)	2 (6%)											
R1	20 (64%)	11 (36%)	なし											
<p>④5領域の教育内容の充実（継続）</p>	<p>【研修会等の情報提供（パワーアップ、発達支援関係等）】 幼稚園教育要領や保育所保育指針等で示されている「5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）」にわたる教育内容への理解を深めるため、研修の機会を紹介・手配した。</p> <p>●研修会等の情報提供・参加集約 トップセミナー、パワーアップセミナー、育児相談会、初級保育研修、乳児保育等、計5回情報提供 参加者 延べ27人（公立27人、課2人） ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、募集人数の制限があったことから当初の予定より参加可能人数が減少した。</p> <p>●絵本研修会の実施 期日等 8/21（栄庁舎3階大会議室） 講師 加藤 由美子氏（新潟青陵幼稚園長青陵短期大学非常勤講師） 演題 「想像の世界で生きる子どもたち」 対象者 幼稚園・保育所（園）等の保育者、小学校等教職員等29人（私立15人、公立6人、市内小学校4人）</p>	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 研修により自らの教育・保育の専門的知識の向上を図り、習得した内容を活かしつつ、教育・保育活動の充実・実践に努めた。 また、発達や子どもの興味に合わせた絵本の選定、人数、時間、場所等を工夫して絵本を楽しむ環境づくりを行った。 さらに、食への興味や関心を高めるとともに、食べ物への感謝の心や命を大切にする気持ちを育むことに努めた。</p> <p>【幼保・ク】 5領域の充実を意識してクラス活動で実践している割合</p> <table border="1" data-bbox="1290 1031 2119 1153"> <thead> <tr> <th>ク</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>25 (81%)</td> <td>6 (19%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>25 (80%)</td> <td>6 (20%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ク	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R2	25 (81%)	6 (19%)	なし	R1	25 (80%)	6 (20%)	なし
ク	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R2	25 (81%)	6 (19%)	なし											
R1	25 (80%)	6 (20%)	なし											

取組項目	市の取組 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果
	<p>●食育事業の実施</p> <p>○食育巡回指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育所(園) 28 施設 (全 142 回) ・3～5 歳児対象 (延べ 2,915 人) ・3 歳未満児対象 (延べ 79 人) <p>○食育講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象…5 歳児及びその保護者 ・内容…調理実習及び保護者食育講話 ・実施施設数…22 施設 ・参加保護者数…463 人 	

施策(2) 特別な配慮が必要な子どもへの支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																					
<p>①三条市子ども・若者総合サポートシステムの充実(継続)</p>	<p>【早期発見と支援の充実】 引き続き、発達障がいや虐待の早期発見に努め、幼児施設、保護者、関係機関等と連携し、個別の支援に当たった。</p> <p>●支援の概況 ○発達障がい等の把握数(就学前幼児) 233人(令和3年3月末現在) ○虐待管理児童数 75人(令和3年3月末現在)</p>	<p>【早期発見と保護者や関係機関との連携・支援】 市の子ども・若者総合サポートシステムの中で、発達に疑いのある子や虐待などに早期に気付くよう努め、保護者や関係機関と連携を図り支援した。また、虐待の疑いのある子どもについては、関係機関と連携し支援した。(子どもの状況を確認し、家庭児童相談員へ通報)</p> <p>【幼保・ケ】 次の取組についてどれだけ実施したかアンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達障がいに早期に気付くための保育力向上に向けた取組を実施 (65%) 全保育者が関係機関との連携の流れを分かっている (45%) 園内で保育者相互の情報共有やケース検討等を行っている (71%) <table border="1" data-bbox="1279 751 2119 874"> <thead> <tr> <th>ケ</th> <th>3つ</th> <th>1つ~2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>14 (45%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>2 (7%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>13 (42%)</td> <td>18 (58%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>【幼保・コ】 全保育者が虐待の疑いのある子に気付いた時の対応方法をわかっていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 994 1955 1117"> <thead> <tr> <th>コ</th> <th>わかっていた</th> <th>わかっていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>28 (93%)</td> <td>2 (7%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ケ	3つ	1つ~2つ	なし	R2	14 (45%)	15 (48%)	2 (7%)	R1	13 (42%)	18 (58%)	なし	コ	わかっていた	わかっていない	R2	28 (93%)	2 (7%)	R1	28 (90%)	3 (10%)
ケ	3つ	1つ~2つ	なし																				
R2	14 (45%)	15 (48%)	2 (7%)																				
R1	13 (42%)	18 (58%)	なし																				
コ	わかっていた	わかっていない																					
R2	28 (93%)	2 (7%)																					
R1	28 (90%)	3 (10%)																					

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果															
<p>②年中児発達参観の着実な実施(強化)</p>	<p>【年中児発達参観の実施の支援】 支援が必要な子どもへの早期の気付き・支援のため、「年中児発達参観」を実施した。(未実施1施設については引き続き働き掛けていく。) ●「年中児発達参観」実施の概要 実施幼稚園・保育所(園)等 31/32 施設 実施回数全 57 回 (1 施設未実施) 参加児数 681 人(対象児 700 人) 参加保護者数 672 人</p>	<p>【年中児発達参観の実施】 年中児発達参観を着実に実施していく中で、子どもの育ちや個性等に早期に気づき、一人一人に合った適切な支援を行った。</p> <p>【幼保・サ】 年中児発達参観を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1249 400 1722 520"> <tr> <td>サ</td> <td>実施した</td> <td>しなかった</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </table> <p>【考察】 引き続き年中児発達参観を着実に実施していくとともに、未実施施設についてはコーディネーターを中心に発達に課題がある児童への対応を行っていく。</p>	サ	実施した	しなかった	R2	31 (97%)	1 (3%)	R1	30 (97%)	1 (3%)						
サ	実施した	しなかった															
R2	31 (97%)	1 (3%)															
R1	30 (97%)	1 (3%)															
	<p>【「個別の発達支援計画」作成の支援】 個別の発達支援計画の引継ぎや活用の促進、支援計画作成状況及び引継ぎ状況等を把握する。 (「個別の発達支援計画」の作成件数) ・公立 126 共有 95 共有率 74.5% ・私立 106 共有 100 共有率 94.3% ・全体 232 共有 195 共有率 84.1%</p>	<p>【「個別の発達支援計画」に基づく支援】 「個別の発達支援計画」を活用し、一人一人の特性に応じた支援を継続的に行うとともに、支援計画を小学校等に確実に引き継いだ。 保護者理解も進みつつあり、参観前に個別の支援計画を作成できる子どもが多かったが、保護者共有が難しい場合もあり、支援計画の作成に至ることができないケースもあった。</p> <p>【幼保・シ】 今年度年中児発達参観で要支援になった子どもに個別の発達支援計画を作成した。 ※ サで実施した施設のみ回答</p> <table border="1" data-bbox="1279 1107 1939 1227"> <tr> <td>シ</td> <td>100%</td> <td>70~100%未満</td> <td>70 未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>24 (89%)</td> <td>2 (7%)</td> <td>1 (4%)</td> <td>27 園/31 園中</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22 (86%)</td> <td>2 (7%)</td> <td>2 (7%)</td> <td>26 園/30 園中</td> </tr> </table> <p>【考察】 障がいに対する保護者理解が進みつつあり、年中児発達参観前に個別の支援計画を作成し、支援につなげている子どもが増えてきている。発達支援コーディネーター研修での保育者のスキルアップを図り、保護者の障がいへの理解を促進していく。</p>	シ	100%	70~100%未満	70 未満		R2	24 (89%)	2 (7%)	1 (4%)	27 園/31 園中	R1	22 (86%)	2 (7%)	2 (7%)	26 園/30 園中
シ	100%	70~100%未満	70 未満														
R2	24 (89%)	2 (7%)	1 (4%)	27 園/31 園中													
R1	22 (86%)	2 (7%)	2 (7%)	26 園/30 園中													

<p>③発達障がい等に対する啓発活動の充実(継続)</p>	<p>【発達障がいに対する啓発活動、発達応援講演会の開催】 乳幼児健診における相談対応のほか、発達障がいに関する講演会を開催し、啓発を図った。 ●発達応援講演会の開催 期日等 11/7 (総合福祉センター多目的ホール) ・講師 和田 有子 氏 (発達クリニックぱすてる非常勤小児科医) ・演題 「みんな凸凹でいいだね」 ・対象者等 一般市民 (150 人参加)</p>	<p>【発達障がいに関する情報提供】 保護者の発達障がいに関する理解を深めるため、情報提供を実施した。 ●各施設における情報提供の実施状況 [幼保・ス] 次の項目のうち、どれだけ取り組んだか。 アンケート項目 ・全保護者に子どもの持つ困り感についての話をを行った。(6%) ・必要な保護者に個別対応で情報提供を行った。(23%) ・園内にポスター・パンフレット等を置いた。(23%) ・市の相談窓口一覧を掲示した。(1%)</p> <table border="1" data-bbox="1279 517 1939 639"> <tr> <td>ス</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16 (52%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>なし</td> </tr> </table>	ス	3つ以上	1つ～2つ	なし	R2	16 (52%)	14 (45%)	1 (3%)	R1	16 (52%)	15 (48%)	なし
ス	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R2	16 (52%)	14 (45%)	1 (3%)											
R1	16 (52%)	15 (48%)	なし											
<p>④発達支援コーディネーターを中心としたサポート体制の確立(強化)</p>	<p>【発達支援コーディネーター研修の実施、活動への支援】 支援の必要に早期に気づき適切に支援につなげていく「発達支援コーディネーター」の養成と当該職の知見の向上を図るため研修を実施した。 ●発達支援コーディネーター研修 ○第1回スキルアップ講座 ・期日 6/2 ・内容 気になる子どもとその保護者理解 ・講師 阿部 真紀子 (臨床心理士) ・対象 現発達支援コーディネーター ・参加者 22 人 ○第2回スキルアップ講座 ・期日 2/26 ・内容 問題行動への考え方と対応の仕方について ・講師 長澤 正樹氏 (新潟大学教職大学院教授) ・対象 現発達支援コーディネーター ・参加者 22 人</p>	<p>【発達支援コーディネーターの活動の実践及び発達支援コーディネーターを中心とした園内・関係機関との連携】 支援の必要な子どもの個性や特性を把握し、担任や保護者による適切な関わりのサポートと関係機関等への連携に努めた。 [幼保・セ] 発達支援コーディネーターとしての次の取組のうちどれだけ実施したか。 アンケート項目 ・「園内の連携を推進するための調整や研修の企画、運営を行った」(39%) ・「保護者の相談窓口になった。」(61%) ・「教育委員会等関係機関との連携窓口になった。」(52%) ・「担任保育者への支援を行った。」(81%)</p> <table border="1" data-bbox="1279 1147 1939 1270"> <tr> <td>セ</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17 (55%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (39%)</td> <td>なし</td> </tr> </table>	セ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R2	17 (55%)	14 (45%)	なし	R1	19 (61%)	12 (39%)	なし
セ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R2	17 (55%)	14 (45%)	なし											
R1	19 (61%)	12 (39%)	なし											

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
	<p>●発達コーディネーターの支援 保健師、臨床心理士による保育所(園)等の訪問時に児童への対応や保護者支援について、発達支援コーディネーターと一緒に検討し、必要に応じて助言を行う。</p>	<p>【考察】 発達支援コーディネーターが中心となり、支援が必要な子どもの育ちや個性等を把握し、担任や保護者が適切に関わることができるようなサポート体制が確立している。研修については、発達支援コーディネーター研修を通して保育者のスキルアップを図るとともに、新規養成も行っていく。</p>												
<p>⑤ユニバーサルデザインの視点に立った保育環境の構成(強化)</p>	<p>【ユニバーサルデザインに関する研修の実施、並びに研修会等の情報提供】 ユニバーサルデザインに関し、幼稚園、保育所(園)への研修会、情報提供等を実施した。</p> <p>●研修会の実施(発達支援コーディネーター研修会においてユニバーサルデザインとインクルーシブ教育システムについての講話を実施)</p> <p>●教育委員会(小中一貫教育推進課)が実施する特別支援教育研修会への参加促進 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため発達応援セミナー中止</p>	<p>【ユニバーサルデザインの視点に立った保育環境の形成】 支援が必要な子どもにとって過ごしやすい環境は、多くの子どもにとっても過ごしやすい環境であるという認識の下、保育環境の工夫を実践した。</p> <p>【幼保・ソ】 次の取組の中でどれだけ実施したか。 アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して話が聞けるよう、保育者の背後の壁面等に配慮した。(68%) ・園内の生活習慣や一日の流れについて視覚的支援を行った。(61%) ・大きな音(太鼓演奏や机をひきずる音など)に対し配慮した。(41%) ・施設内でユニバーサルデザインの工夫(環境構成・話し方等)に係る話合いの場を持った。(39%) <table border="1" data-bbox="1290 954 2119 1075"> <thead> <tr> <th>ソ</th> <th>3つ以上</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>19 (61%)</td> <td>11 (35%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15 (48%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】 昨年度より保育環境に工夫をして複数の取組を実施している施設が増えている。今後も研修会等への参加を促し、子どもにとって過ごしやすい環境を進めていく。</p>	ソ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R2	19 (61%)	11 (35%)	1 (4%)	R1	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)
ソ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R2	19 (61%)	11 (35%)	1 (4%)											
R1	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)											

施策(3) 教職員の資質や専門性の向上

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
<p>①資質・専門性の向上のための研修の充実(継続)</p>	<p>【資質向上のための研修会の開催】 職員の資質・専門性の向上を図るため、研修会等を実施した。</p> <p>●新潟大学附属幼稚園・長岡市・三条市合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 6/18, 11/5、1/28 (オンライン開催) ・指導者 東京大学発達保育実践政策学センター 教育学部長 秋田 喜代美 氏 副センター長 浅井 幸子 氏 センター教員 野澤 祥子 氏 ・内容 各園の研修システムの改善と構築を通して保育の質の向上を図る ・対象 保育の中心的役割を担う保育者 ・参加者 19人(公立9人、私立10施設) <p>●保育士の実践力向上研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 7/21 (教育センターホール) ・対象等 幼稚園・保育所(園)、認定こども園保育者(39人参加) ・講師 名塚 裕子教諭、長谷川 宏之教諭(新大附属幼稚園) ・演題 「これからの幼児教育と保育者の力量形成」 ・内容 10の姿を通して子どもの多面的な姿の捉え方や遊びの中での保育者の関わりを考える。 <p>●園内研修及び自主研修への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三条市保育研究会(5歳児部会)の実施支援 時期等 7月(三条市東公民館) 対象 公立保育所年長児担任(17人参加) 講師 幼保小連携推進員 演題 「幼保から小学校へ～経験的な学びから系統的な学びへ～」 ○新潟大学附属幼稚園「遊びのとびら」公開保育(オンライン)案内 ○市主催研修会で使用した保育動画、資料を貸出し、園内研修で活用 	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 事例検討等の園内研修や自主研修を実施し一人一人の専門性を高めるとともに、園全体の課題を明確にし、活動内容や指導計画を見直した。</p> <p>●園内研修の工夫等 【幼保・タ】 次の取組の中でどれだけ実施したか。 アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内で公開保育を実施した。(2%) ・各種の園内研修を行った。(68%) ・各種の園外研修に参加した。(68%) ・園外研修で学んだことを園内で共有した。(68%) <table border="1" data-bbox="1290 715 2123 836"> <thead> <tr> <th>タ</th> <th>3つ以上</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>17 (55%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	タ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R2	17 (55%)	14 (45%)	なし	R1	24 (77%)	7 (23%)	なし
タ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R2	17 (55%)	14 (45%)	なし											
R1	24 (77%)	7 (23%)	なし											

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
②一人一人の特性に応じた幼児教育の実施(継続)	<p>【教育・保育活動に関する研修会等の情報提供等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の向上を目的とした研修の情報提供及び参加の取りまとめ等を行った。 	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】</p> <p>一人一人の子どもの特性を理解することで子どもの思いに共感しつつ、保育の経過記録に記し保育活動に活用した。</p> <p>●教育・保育活動の状況</p> <p>[幼保・チ] 担任や加配保育士(80%以上)は日々の子どもの様子をメモしていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1290 480 1899 600"> <thead> <tr> <th>チ</th> <th>取っていた</th> <th>取っていなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>26 (84%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	チ	取っていた	取っていなかった	R2	26 (84%)	5 (16%)	R1	28 (90%)	3 (10%)
チ	取っていた	取っていなかった									
R2	26 (84%)	5 (16%)									
R1	28 (90%)	3 (10%)									
③保護者との信頼関係の構築(継続)	<p>【研修会等に関するの情報提供等】</p> <p>保護者支援に係る研修会等の情報提供、取りまとめ等を行った。</p>	<p>【研修内容を活かした保護者支援の実施】</p> <p>子どもの様子を的確に把握し保護者に伝えるとともに、悩んでいる保護者の話を聞き適切なアドバイスを行うよう努めた。</p> <p>●教育・保育活動の状況</p> <p>[幼保・ツ] 保育者(80%以上)は、保護者に対して適切な対応を行っていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1290 879 1899 999"> <thead> <tr> <th>ツ</th> <th>行っていた</th> <th>行っていなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </tbody> </table>	ツ	行っていた	行っていなかった	R2	31 (100%)	なし	R1	29 (94%)	2 (6%)
ツ	行っていた	行っていなかった									
R2	31 (100%)	なし									
R1	29 (94%)	2 (6%)									

施策(4) 信頼される幼稚園・保育所(園)づくり

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																					
<p>①評価サイクルによる保育所評価の実施(強化)</p>	<p>【保育所評価の着実な実施に対する支援】 評価、公表を行っていくことが保護者との信頼関係やより良い保育所運営へと結び付くため、引き続き、着実に評価、改善を行うよう働きかけを行った。 ●保育所評価の実施支援(2月) ●評価結果についてホームページにおいて公表</p>	<p>【保育所評価の着実な実施と公表】 評価結果を基に、職員自身や幼稚園・保育所(園)等の教育、保育活動を振り返り評価し、その結果と改善策を公表するとともに、日頃の保育活動に活かした。</p> <p>●保育所評価の活用 [幼保・テ] PDCAサイクルを確立し、保育所評価を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1290 555 1899 679"> <thead> <tr> <th>テ</th> <th>実施した</th> <th>実施しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>27 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>25 (81%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保・ト] 評価結果を第三者委員や保護者に公表し、日頃の教育・保育活動に活かした。※ 上記で「実施した」を選んだ施設のみ回答</p> <table border="1" data-bbox="1290 836 1995 999"> <thead> <tr> <th>ト</th> <th>結果及び対応策を公表</th> <th>結果のみ公表</th> <th>公表なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>25 (92%)</td> <td>1 (4%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>23 (92%)</td> <td>2 (8%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>27園中 25園中</p> <p>【考察】 評価結果の公表を行っていくことが保護者との信頼関係やより良い幼稚園・保育所(園)へと結び付くため、評価の取組が進んでいない施設に対して働きかけを行っていく。</p>	テ	実施した	実施しなかった	R2	27 (90%)	3 (10%)	R1	25 (81%)	6 (19%)	ト	結果及び対応策を公表	結果のみ公表	公表なし	R2	25 (92%)	1 (4%)	1 (4%)	R1	23 (92%)	2 (8%)	なし
テ	実施した	実施しなかった																					
R2	27 (90%)	3 (10%)																					
R1	25 (81%)	6 (19%)																					
ト	結果及び対応策を公表	結果のみ公表	公表なし																				
R2	25 (92%)	1 (4%)	1 (4%)																				
R1	23 (92%)	2 (8%)	なし																				

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
②「保護者先生体験」の実施(継続)	<p>【「保護者先生体験」の実施への支援】 保育所(園)等における「保護者先生体験」の実施について、アドバイス等の支援を行った。 ※ 保護者先生体験：保護者の希望を募り、保育者(先生)を体験していただくもの</p>	<p>【「保護者先生体験」の実施】 「保護者先生体験」により、保護者に保育所(園)での日頃の活動や保育者の関わりを体験していただき、保護者との信頼関係の深化につなげた。 [幼保・ナ] 「保護者先生体験」に参加した保護者の延べ人数 R2：102人(実施7施設) R1：472人</p>									
③学校評議員制度や苦情処理制度の活用(継続)	<p>【苦情処理体制整備への支援】 苦情処理体制整備について、アドバイス等の支援を行った。</p>	<p>【苦情処理体制の整備】 保護者からの意見、要望及び苦情に対し適切な対応ができるよう受付窓口を設け、相談責任者、担当者等の体制を保護者に周知した。 [幼保・ニ] 学校評議員制度や苦情処理制度を活用し保護者等の意見を聞いたか。</p> <table border="1" data-bbox="1290 635 1899 759"> <thead> <tr> <th data-bbox="1290 635 1368 675">二</th> <th data-bbox="1368 635 1632 675">聞いている</th> <th data-bbox="1632 635 1899 675">聞いていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1290 675 1368 715">R2</td> <td data-bbox="1368 675 1632 715">22 (79%)</td> <td data-bbox="1632 675 1899 715">6 (21%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1290 715 1368 754">R1</td> <td data-bbox="1368 715 1632 754">24 (77%)</td> <td data-bbox="1632 715 1899 754">7 (23%)</td> </tr> </tbody> </table>	二	聞いている	聞いていない	R2	22 (79%)	6 (21%)	R1	24 (77%)	7 (23%)
二	聞いている	聞いていない									
R2	22 (79%)	6 (21%)									
R1	24 (77%)	7 (23%)									

《重点項目2》 幼稚園・保育所（園）等と小学校の連携の推進

(1) 確実な引継ぎ・継続的な支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																	
<p>①個別の発達支援計画等の活用(強化)</p>	<p>●小学校等訪問及びアンケートによる「個別の発達支援計画」の引継ぎ・活用状況把握</p> <p>小学校や保育所(園)に対し、訪問やアンケートにより状況把握を実施する中で、「個別の発達支援計画」やその活用に係る幼小・保小の接続期のスムーズな引継ぎが図られるよう促した。</p> <p>○接続期における小学校等訪問と情報交換</p> <p>対象児 新1年生(703人)</p> <p>実施時期 6月～7月</p> <p>対象校 市内全小学校、義務教育学校、県立特別支援学校</p> <p>訪問者 指導主事、幼保小連携推進員、地区担当保健師、発達ルーム専任指導員、児童クラブ推進員等</p> <p>○接続期における幼稚園・保育所(園)等訪問と情報交換</p> <p>対象児 年長児(686人)</p> <p>実施時期 10月～2月</p> <p>訪問施設 全幼児施設32施設</p> <p>訪問者 指導主事、幼保小連携推進員、地区担当保健師、児童クラブ推進員等</p> <p>○「個別の発達支援計画」の引継ぎ・活用状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所(園)等から小学校への「個別の発達支援計画」引継ぎ報告書の提出による引継ぎ状況の確認 ・状況把握(3月実施) 	<p>【「個別の発達支援計画」の引継ぎ、活用】</p> <p>支援が必要な子どもについて、「個別の発達支援計画」を引き継ぐことで、幼児期において受けた支援をスムーズに小学校等に引き継ぎ、継続的な支援につなげることに努めた。</p> <p>●「個別の支援計画」の引継ぎ</p> <p>[幼保・又] 「個別の支援計画」を小学校に送付するとともに、情報交換会等で子どもの引継ぎを確実に行った。</p> <table border="1" data-bbox="1301 635 1805 756"> <thead> <tr> <th>又</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> <th>(要支援児の在籍施設)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>29 (100%)</td> <td>なし</td> <td>29園中</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>28 (100%)</td> <td>なし</td> <td>28園中</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・ア] 今年度の1年生に「個別の支援計画」作成児がいたか。</p> <p>※ 特別支援学級も含む。</p> <table border="1" data-bbox="1301 836 1895 957"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>作成児がいた</th> <th>いなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>14 (70%)</td> <td>6 (30%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16 (80%)</td> <td>4 (20%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●「個別の発達支援計画」の活用</p> <p>[小学・イ] どの子が支援児であるか知っている。</p> <p>※ 作成児在籍小学校のみ回答</p> <p>アンケート項目</p> <p>A：担任のほか、1学年に携わる職員、管理職、コーディネーターなど複数の職員が知っている。(93%)</p> <p>B：担任のほか、1学年に携わる職員が知っている。(7%)</p> <p>C：担任のみが知っている。(0%)</p> <table border="1" data-bbox="1301 1283 2074 1404"> <thead> <tr> <th>イ</th> <th>複数職員が知っている</th> <th>1学年職員</th> <th>担任のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>13 (93%)</td> <td>1 (7%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	又	行った	行わなかった	(要支援児の在籍施設)	R2	29 (100%)	なし	29園中	R1	28 (100%)	なし	28園中	ア	作成児がいた	いなかった	R2	14 (70%)	6 (30%)	R1	16 (80%)	4 (20%)	イ	複数職員が知っている	1学年職員	担任のみ	R2	13 (93%)	1 (7%)	なし	R1	16 (100%)	なし	なし
又	行った	行わなかった	(要支援児の在籍施設)																																
R2	29 (100%)	なし	29園中																																
R1	28 (100%)	なし	28園中																																
ア	作成児がいた	いなかった																																	
R2	14 (70%)	6 (30%)																																	
R1	16 (80%)	4 (20%)																																	
イ	複数職員が知っている	1学年職員	担任のみ																																
R2	13 (93%)	1 (7%)	なし																																
R1	16 (100%)	なし	なし																																

取組項目	市の取組 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																					
	<p>●新保育要録作成・送付の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所長会議及び保育園長会議で説明 (9月) ○全施設に作成資料を送付 (9月) ○要録の作成に当たり記入方法や就学先との調整について助言 (3月) 	<p>[小学・ウ] 次の取組みの中でどれだけ実施したか。</p> <p>※ 特別支援学級での活用含める</p> <p>アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級編制の参考資料にした。(50%) ・担任等が作成児に関わる際の参考にした。(100%) ・担任が学級経営等の参考にした。(91%) ・保護者との面談で使用了。(33%) ・小学校等での個別の教育支援計画・個別の指導計画作成時に参考にした。(83%) <table border="1" data-bbox="1312 596 2011 716"> <tr> <td>ウ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12 (85%)</td> <td>2 (15%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>13 (81%)</td> <td>3 (19%)</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p>子ども一人一人の成長を振り返り、「幼児期に育てほしい姿(10の姿)」の中で最終学年の1年間で成長した点や小学校で更に伸ばしてほしい部分を記載し、小学校に送付した。</p> <p>●新様式による要録作成</p> <p>[幼保・ネ] 新様式、新作成方法に基づいて要録を作成し、小学校等に確実に送付したか。</p> <table border="1" data-bbox="1312 1034 2011 1155"> <tr> <td>ネ</td> <td>行った</td> <td>行わなかった</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </table> <p>【考察】</p> <p>支援が必要な子どもについて、「個別の発達支援計画」を引き継ぐことで、幼児期において受けた支援をスムーズに小学校等に引き継ぎ、継続的な支援につなげることができるよう努める。</p>	ウ	3つ以上	1～2つ	なし	R2	12 (85%)	2 (15%)	なし	R1	13 (81%)	3 (19%)	なし	ネ	行った	行わなかった	R2	31 (100%)	なし	R1	30 (97%)	1 (3%)
ウ	3つ以上	1～2つ	なし																				
R2	12 (85%)	2 (15%)	なし																				
R1	13 (81%)	3 (19%)	なし																				
ネ	行った	行わなかった																					
R2	31 (100%)	なし																					
R1	30 (97%)	1 (3%)																					

②三条市子ども・若者サポートシステムの啓発（継続）

【三条市子ども・若者総合サポートシステムの普及・啓発】

- 三条市子ども・若者総合サポート会議の開催
 - ・代表者会議 1回
 - ・実務者会議 虐待防止部会：5回、
障がい支援部会、若者支援部：各1回
問題行動対応部会：2回
 - ・個別のケース検討会議 72回
 - ・就学時健診での説明
 - ・校長会での説明

【三条市子ども・若者総合サポートシステムにおける情報提供等】

保護者に三条市子ども・若者総合サポートシステムの情報提供を実施した。また、保護者が集まる機会に、同システムについて説明を行い利用方法等の周知を行った。

●三条市子ども・若者総合サポートシステムの情報提供

[幼保・ノ] 幼稚園・保育所（園）で情報提供を行った。

ノ	行った	行わなかった
R2	28 (93%)	2 (7%)
R1	21 (68%)	10 (32%)

[小学・エ] 小学校で情報提供を行った。

エ	行った	行わなかった
R2	16 (80%)	4 (20%)
R1	11 (55%)	9 (45%)

(2) 交流活動の推進

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																														
① 幼保小連携活動の支援（継続）	<p>●幼保小・職員交流活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度交流活動報告書作成・配布 ○令和3年度交流活動計画書取りまとめ ○交流活動のためのバス運行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた活動の中止や感染症対策についての相談支援 ・実施状況を報告書により把握（3月） <p>●連携合同実務者会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回合同実務者会議 <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 5月1日（栄庁舎3階大会議室） ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、各学園単位での打ち合わせとする。 ○第2回合同実務者会議 <ul style="list-style-type: none"> ・時期等 2月16日、2月17日（栄庁舎3階大会議室） ・参加者 幼稚園・保育所(園)及び小学校等連携実務者 ・内容 今年度の交流活動の反省及び次年度の計画立案 ※ 新型コロナウイルス感染症対策として、学園区を2日に分けて行う。 	<p>幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果</p> <p>【幼保小・幼保・保保・職員交流活動の充実】</p> <p>子ども達が意欲や期待を持って、小学校に入学できるよう、幼保小連携会議の中で、幼保小交流活動、幼保、保保交流の取組について話し合いを行い活動の充実を図ることに努めた。</p> <p>●幼保小・幼保・職員交流活動の充実</p> <p>【幼保・ハ】 前年度の交流活動の課題に対する改善を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 555 1883 679"> <thead> <tr> <th>ハ</th> <th>改善した</th> <th>改善しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>20 (69%)</td> <td>9 (31%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【小学・オ】 前年度の交流活動の課題に対する改善を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 759 1883 884"> <thead> <tr> <th>オ</th> <th>改善した</th> <th>改善しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>18 (90%)</td> <td>2 (10%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●幼保小、幼保、保保交流活動の実施</p> <p>【幼保・ヒ】 交流活動によって見られるようになった子どもの姿（次の項目のうちどれだけ該当するか。）</p> <p>アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小学校等入学を楽しみにするようになった。(55%) ・顔見知りが増え、友達との関係づくりに積極性が出てきた。(19%) ・自分のことは自分でしょうという自発性が出てきた。(35%) ・知的好奇心が育ってきた。(29%) <table border="1" data-bbox="1279 1238 1973 1362"> <thead> <tr> <th>ヒ</th> <th>3つ以上</th> <th>1～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>13 (45%)</td> <td>7 (24%)</td> <td>9 (31%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>29 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ハ	改善した	改善しなかった	R2	20 (69%)	9 (31%)	R1	30 (97%)	1 (3%)	オ	改善した	改善しなかった	R2	12 (60%)	8 (40%)	R1	18 (90%)	2 (10%)	ヒ	3つ以上	1～2つ	なし	R2	13 (45%)	7 (24%)	9 (31%)	R1	29 (94%)	2 (6%)	なし
ハ	改善した	改善しなかった																														
R2	20 (69%)	9 (31%)																														
R1	30 (97%)	1 (3%)																														
オ	改善した	改善しなかった																														
R2	12 (60%)	8 (40%)																														
R1	18 (90%)	2 (10%)																														
ヒ	3つ以上	1～2つ	なし																													
R2	13 (45%)	7 (24%)	9 (31%)																													
R1	29 (94%)	2 (6%)	なし																													

[小学・カ] 交流活動によって見られるようになった子どもの姿
(次の項目のうちどれだけ該当するか。)

アンケート項目

- ・園児と触れ合い、児童の思いやりの心が育った。(53%)
- ・顔見知りが増え、友だちとの関係づくりに積極性が出てきた(13%)
- ・小学生としての自覚が育ってきた。(100%)
- ・自信を持ち、積極的な行動が見られるようになった。(66%)
- ・普段と違う児童の姿が見られた。(60%)

カ	3つ以上	1～2つ	なし
R2	10 (50%)	5 (25%)	5 (25%)
R1	20 (100%)	なし	なし

●職員交流活動の充実

[幼保・フ] 交流活動の成果(次の項目のうちどれだけ該当するか。)

アンケート項目

- ・幼児教育や学校教育の違いや内容を知ることができた。(29%)
- ・他施設や小学校等の行事等について知ることができた。(35%)
- ・小学校等への子どもの情報の引継ぎがしやすくなった。(55%)
- ・接続期の教育を意識し、実践した。(48%)

フ	3つ以上	1～2つ	なし
R2	14 (47%)	9 (30%)	7 (23%)
R1	27 (87%)	4 (13%)	なし

[小学・キ] 交流活動の成果(次の項目のうちどれだけ該当するか。)

アンケート項目

- ・幼児教育と学校教育の違いや内容を知ることができた。(95%)
- ・他園や他校の行事等について知ることができた。(65%)
- ・他園や他校の教職員と親しくなれた。(45%)
- ・保護者の家庭環境等の情報を知ることができた。(60%)
- ・気になる子の対応の仕方を知ることができた。(85%)
- ・接続期の教育を意識し、実践した。(45%)

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1341 217 1449 256">キ</td> <td data-bbox="1449 217 1646 256">3つ以上</td> <td data-bbox="1646 217 1843 256">1~2つ</td> <td colspan="2" data-bbox="1843 217 2036 256">なし</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1341 256 1449 296">R2</td> <td data-bbox="1449 256 1646 296">16 (80%)</td> <td data-bbox="1646 256 1843 296">3 (15%)</td> <td colspan="2" data-bbox="1843 256 2036 296">1 (5%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1341 296 1449 336">R1</td> <td data-bbox="1449 296 1646 336">20 (100%)</td> <td colspan="2" data-bbox="1646 296 1843 336">なし</td> <td data-bbox="1843 296 2036 336">なし</td> </tr> </table>				キ	3つ以上	1~2つ	なし		R2	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)		R1	20 (100%)	なし		なし
キ	3つ以上	1~2つ	なし																	
R2	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)																	
R1	20 (100%)	なし		なし																

(3) 育ちのつながりを意識した指導

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																																				
①保育参観・授業参観の充実(強化)	<p>●保育参観・授業参観の実施促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各施設の活動計画一覧表を配付し交流活動の啓発、促進を行う。 ○小学校等教員の「保育者体験」、保育者の「小学校教諭体験」の実施状況の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の実施状況をアンケートにより把握(2月～3月) 	<p>【保育参観・授業参観の実施】</p> <p>保育参観・授業参観や保育士体験・小学校教諭体験を通してそれぞれの特質(生活リズム、学び方等)を理解し、日々の活動に活かすよう努めた。</p> <p>●保育参観・授業参観の実施</p> <p>[幼保・へ] 職員が小学校の授業参観をした。 ※ 引継ぎのための1年生の授業参観を含む</p> <table border="1" data-bbox="1279 555 1921 679"> <thead> <tr> <th>へ</th> <th>参観した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>21 (70%)</td> <td>9 (30%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・ク] 幼稚園・保育所(園)等の教育、保育を参観したか。 ※ 引継ぎのための保育参観含む。</p> <table border="1" data-bbox="1279 799 1921 924"> <thead> <tr> <th>ク</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19 (95%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保・ホ] 職員が小学校の授業に参画したか。 ※ 小学校との合同授業含む。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1043 1921 1168"> <thead> <tr> <th>ホ</th> <th>参画した</th> <th>参画しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>9 (29%)</td> <td>22 (71%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>9 (29%)</td> <td>22 (71%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学・ケ] 小学校等職員が、保育者体験を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1241 1921 1366"> <thead> <tr> <th>ケ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>5 (25%)</td> <td>15 (75%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> </tbody> </table>	へ	参観した	しなかった	R2	21 (70%)	9 (30%)	R1	31 (100%)	なし	ク	行った	行わなかった	R2	12 (60%)	8 (40%)	R1	19 (95%)	なし	ホ	参画した	参画しなかった	R2	9 (29%)	22 (71%)	R1	9 (29%)	22 (71%)	ケ	行った	行わなかった	R2	5 (25%)	15 (75%)	R1	12 (60%)	8 (40%)
へ	参観した	しなかった																																				
R2	21 (70%)	9 (30%)																																				
R1	31 (100%)	なし																																				
ク	行った	行わなかった																																				
R2	12 (60%)	8 (40%)																																				
R1	19 (95%)	なし																																				
ホ	参画した	参画しなかった																																				
R2	9 (29%)	22 (71%)																																				
R1	9 (29%)	22 (71%)																																				
ケ	行った	行わなかった																																				
R2	5 (25%)	15 (75%)																																				
R1	12 (60%)	8 (40%)																																				

		<p>[幼保・マ] 保育参観の案内をした。</p> <table border="1"> <tr> <td>マ</td> <td>案内した</td> <td>案内しなかった</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>26 (84%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> </table> <p>[小学・コ] 保育者が1年間継続して授業参観を行える体制がとれたか。 ※ 授業参観の案内を出す、園からの要望に応じて授業参観を行う等</p> <table border="1"> <tr> <td>コ</td> <td>行った</td> <td>行わなかった</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11 (55%)</td> <td>9 (45%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> </table> <p>【考察】 令和2年度は、新型コロナウイルス拡大防止のため、幼保小の施設間での準備体制はできていたものの、全てを実施することができなかったが、開催時期や内容を工夫して実施した施設もある。 今後も施設間での情報共有など連携を強化し、実施できるように取り組む。</p>	マ	案内した	案内しなかった	R2	23 (77%)	7 (23%)	R1	26 (84%)	5 (16%)	コ	行った	行わなかった	R2	11 (55%)	9 (45%)	R1	12 (60%)	8 (40%)
マ	案内した	案内しなかった																		
R2	23 (77%)	7 (23%)																		
R1	26 (84%)	5 (16%)																		
コ	行った	行わなかった																		
R2	11 (55%)	9 (45%)																		
R1	12 (60%)	8 (40%)																		
<p>②「安心わくわくプログラム」「スタートカリキュラム」の活用(強化)</p>	<p>●「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」等の活用促進 ○新学習指導要領改訂に合わせ見直した「令和2年度版スタートモデルカリキュラム」の活用促進 ・小学校訪問、保育所訪問で幼保小連携推進員が環境設定、活動内容について把握</p> <p>●「安心わくわくプログラム」「スタートモデルカリキュラム」等の状況把握 ・見直し後のスタートモデルカリキュラムの活用状況をアンケートにより確認(2月～3月)</p>	<p>【「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」の活用】 年長児担任及び1年生担任は、「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」を活用し、幼保小の接続期の活動の充実に努めた。 ※ 「接続期」：年長児の1月から3月まで、及び小学校の入学後の4月から6月まで。つながりを意識して丁寧な指導を実施する時期</p> <p>●「安心わくわくプログラム」「スタートモデルカリキュラム」の活用状況</p> <p>[幼保・ミ] 職員への周知・研修を行ったか。</p> <table border="1"> <tr> <td>ミ</td> <td>全職員で行った</td> <td>年長児関係職員で行った</td> <td>行っていない</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5 (16%)</td> <td>20 (65%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6 (20%)</td> <td>19 (60%)</td> <td>6 (20%)</td> </tr> </table>	ミ	全職員で行った	年長児関係職員で行った	行っていない	R2	5 (16%)	20 (65%)	6 (19%)	R1	6 (20%)	19 (60%)	6 (20%)						
ミ	全職員で行った	年長児関係職員で行った	行っていない																	
R2	5 (16%)	20 (65%)	6 (19%)																	
R1	6 (20%)	19 (60%)	6 (20%)																	

【小学・サ】 職員への周知・研修を行ったか。

サ	全職員で行った	1年生担任、関係職員で行った	行っていない
R2	1 (5%)	18 (90%)	1 (5%)
R1	2 (10%)	15 (75%)	3 (15%)

【幼保・ム】 年長児担任が接続期の取組において活用したか。

ム	両方取り入れた	安心わくわくプログラムを取り入れた	取り入れなかった
R2	8 (27%)	21 (70%)	1 (3%)
R1	7 (23%)	20 (64%)	4 (13%)

【小学・シ】 1年生担任が接続期の取組において活用したか。

シ	両方取り入れた	どちらか一方を取り入れた	取り入れなかった
R2	9 (45%)	9 (45%)	2 (10%)
R1	10 (50%)	8 (40%)	2 (10%)

【考察】

「安心わくわくプログラム」や「スタートモデルカリキュラム」の活用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流や職員間の研修が難しかったが、接続期の見通しや活動予定を検討する中で活用した。引き続き両プランを活用していただくよう各施設に周知等を行う。

《重点項目3》 家庭への支援の充実

施策(1) 家庭の教育力の向上支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																		
<p>①家庭教育講座の充実(強化)</p>	<p>【保護者を対象とした講座実施への支援】 「家庭教育講座」等の保護者を対象とした講座の実施を支援したほか、「眠育」の浸透、啓発を図った。</p> <p>●家庭教育講座の開催 ・保育所(園)等の3歳児保護者を対象に実施 12園 【眠育講話 7施設 子育て講座 5施設】 ・小学校等就学時健診を活用し実施 20校 ・中学校等入学・進級説明会を活用し実施 6校</p> <p>●小学校等入学予定児童の保護者に「わくわくチャレンジ」配布</p> <p>●ノーバディズ・パーフェクト(NP)講座 ・実施概要 1講座8人、6回×5クール(参加者数25人) ・内 容 乳幼児を持つ保護者の育児不安を軽減、児童虐待防止を図り、保護者同士の情報交換や仲間作りの支援</p> <p>●初めてのママ講座 ・実施概要 1講座7人、4回×6クール(参加者数43人) ・内 容 初めての乳児を育てる保護者の育児不安を軽減、保護者同士の情報交換や仲間作りを支援</p> <p>【眠育推進事業】 ●眠育の啓発 ○眠育の啓発 (1)リーフレットを活用しての啓発 (妊娠期) ・妊娠届時にリーフレットの配布 ・パパ手帳への眠育掲載 (乳幼児期) ・乳幼児健診における問診アンケート実施による睡眠リズムの</p>	<p>【子どもの状況に合わせた講座の開催】 園行事など保護者が集まる機会を活用し、子どもの成長に合わせた内容の講座を開催した。 また、眠育の推進については、リーフレット配布による眠育啓発やモデル地区における睡眠調査の実施及び状況に応じた個別指導を行った。</p> <p>[幼保・メ] 園独自の家庭教育講座(外部講師、園長、市職員等)を開催したか。</p> <table border="1" data-bbox="1281 673 1859 796"> <thead> <tr> <th>メ</th> <th>開催した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>11 (37%)</td> <td>19 (33%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19 (61%)</td> <td>12 (39%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 市主催の家庭教育講座開催)</p> <table border="1" data-bbox="1281 836 1859 959"> <thead> <tr> <th>メ</th> <th>開催した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>14 (47%)</td> <td>16 (46%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】 ○家庭教育講座について ・就学に向けた眠育講話は、生活リズムの定着に役立っているという結果がアンケートから得られている。幼児期における眠育の取組を推進していくため、眠育講話の開催の拡充を図っていく。 ・子育て講座は、参加者アンケートから子育ての悩みの軽減につながっていることから、実施施設及び保護者のニーズを踏まえて講座内容を検討していく。</p> <p>○眠育推進事業について ・小中学校の現状から、長年の生活習慣を変容させることは難しく、幼少期からの取組の積み重ねが重要であることから、今後は</p>	メ	開催した	しなかった	R2	11 (37%)	19 (33%)	R1	19 (61%)	12 (39%)	メ	開催した	しなかった	R2	14 (47%)	16 (46%)	R1	16 (52%)	15 (48%)
メ	開催した	しなかった																		
R2	11 (37%)	19 (33%)																		
R1	19 (61%)	12 (39%)																		
メ	開催した	しなかった																		
R2	14 (47%)	16 (46%)																		
R1	16 (52%)	15 (48%)																		

	<p>確認及びリーフレットを活用しての保健指導実施 (小中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において保護者参観時にリーフレット説明、配布 <p>○絵本を活用した啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等及び小学校、子育て拠点施設に配布 ・図書館との連携 (H30年～眠育コーナーを設置) <p>●眠育研修会</p> <p>○第1回眠育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 8/6 (栄庁舎3階ホール) ・対象等 保育所等及び小・中・義務教育学校教職員等 83人参加 ・講 師 石井 正文 氏 (日本眠育推進協議会理事) ・内 容 熊本大学名誉教授三池輝久氏の講義DVD視聴、石井正文氏の講義、三条市の取組紹介、眠育の必要性、基本的な睡眠調査票の読取について ・参加者 37人 <p>○第2回眠育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 11/26 (栄庁舎3階ホール) ・対 象 モデル地区の保育所及び小・中学校教職員等 41人参加 ・講 師 三池 輝久氏 (熊本大学名誉教授) Zoomによるオンライン講義 ・内 容 事例検討 ・参加者 37人 <p>○睡眠調査読取勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 6/10 (栄庁舎研修室2)、養護教諭、保健師等 19人参加 ・対 象 モデル地区の市内全保育所等及び小中学校教職員 ・内 容 睡眠調査読取実習 ・参加者 14人 <p>○睡眠調査及び眠育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区における2週間の睡眠調査 ・実施回数 瑞穂学園 年3回 (幼・保2回) 四つ葉学園 年2回 (幼・保1回) 	<p>モデル地区の継続的な実施とともに生活習慣の基盤となる幼児期の取組みを強化することが先決であるため、モデル地区外の公立保育所での睡眠調査を開始し、その後私立保育園、こども園、幼稚園へ勧奨し準備の整った園から実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の眠育啓発を図るため、年長児保護者対象の眠育講話を市内全保育所で実施する。 ・調査、判定及び集計等の作業量が多い「睡眠調査」については、実施担当者の負担軽減を図るため、「眠育アプリ」等の導入を検討していく。
--	---	---

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果																		
②すまいるファイルの活用 (継続)	<p>【「すまいるファイル」の活用方法の周知】 「すまいるファイル」について、保護者が記載する負担を軽減するため支援機関から配布されるシート等を挟み込む方式に変更するなど、より活用しやすい形式に見直すとともに、引き続き、出生時に保護者に配布した。</p> <p>●「すまいるファイル」の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生時保護者等に配布、活用方法周知 ・配布数 出生児の保護者等 651 人 (転入含む) 出生児以外の保護者 70 人 	<p>【「すまいるファイル」の活用紹介、保護者との情報共有での活用】 子どもに関わる必要な情報を記録し、何らかのサポートが必要になった時に、適切な支援につなげられるよう、このファイルを行政や相談機関に持参し活用できることを周知した。また、子どもの様子をわかり合い、成長に向けての関りを考えるツールとして、「個別の発達支援計画」の共有や個人面談など、保護者との情報共有で活用した。</p> <p>●すまいるファイルの活用紹介</p> <p>【幼保・モ】 保護者に周知したり、情報共有に使ったりしたか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 517 1928 639"> <thead> <tr> <th>モ</th> <th>紹介した</th> <th>紹介しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>20 (65%)</td> <td>11 (35%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>16 (52%)</td> <td>15 (48%)</td> </tr> </tbody> </table>	モ	紹介した	紹介しなかった	R2	20 (65%)	11 (35%)	R1	16 (52%)	15 (48%)									
モ	紹介した	紹介しなかった																		
R2	20 (65%)	11 (35%)																		
R1	16 (52%)	15 (48%)																		
③家庭への情報発信 (継続)	<p>【家庭教育や子育て支援に関する情報提供】 妊娠届けを出された方に対し、「平成31年度三条市子育てガイドブック」を配布した。</p> <p>【子育て相談、関係機関との連携】 子育て支援センターや幼稚園・保育所(園)等で実施する相談支援に関する情報を提供した。</p>	<p>【家庭教育や子育て支援に関する情報提供】 園内の保護者に子どもの成長に合わせた内容の講座の情報提供を行ったり、家庭教育の重要性や子育てに関するアドバイスをしたりした。</p> <p>● 家庭教育や家庭教育支援事業について情報発信</p> <p>【幼保・ヤ】 園内の保護者にアドバイスをしたり、家庭教育支援事業への参加を促したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 916 1928 1038"> <thead> <tr> <th>ヤ</th> <th>発信した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>27 (87%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【子育て相談、関係機関との連携】 保護者等の子育てに関する相談に乗ったり、必要に応じて関係機関との連携を図ったりした。</p> <table border="1" data-bbox="1301 1262 1946 1385"> <thead> <tr> <th>リ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>29 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ヤ	発信した	しなかった	R2	27 (87%)	4 (13%)	R1	30 (97%)	1 (3%)	リ	行った	行わなかった	R2	29 (97%)	1 (3%)	R1	31 (100%)	なし
ヤ	発信した	しなかった																		
R2	27 (87%)	4 (13%)																		
R1	30 (97%)	1 (3%)																		
リ	行った	行わなかった																		
R2	29 (97%)	1 (3%)																		
R1	31 (100%)	なし																		

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31施設アンケート結果									
④家庭教育や子育てに関する相談の実施 (継続)	<p>【相談会の充実】 家庭教育や子育てに関する悩みや不安を解消するため、相談会等を実施した。</p> <p>●相談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電話相談 (随時) <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談 91 件 ・家庭児童相談 (延べ) 総件数 343 件 (うち児童虐待に関する相談 191 件) ○来庁相談 (事前予約) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育・子育て相談 (臨床心理士と言語聴覚士) 月 4～5 回 (内 1 回は土曜) ・臨床心理士相談 141 件 ・言語聴覚士相談 60 件その他、保健師による随時相談を実施 	<p>【相談会の紹介】 悩み事や不安なことを相談できる機関を紹介した。</p> <p>●相談会の紹介</p> <p>[幼保・ユ] 園内の保護者に相談機関を紹介したか。</p> <table border="1" data-bbox="1285 400 1928 523"> <thead> <tr> <th>ユ</th> <th>紹介した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ユ	紹介した	しなかった	R2	31 (100%)	なし	R1	31 (100%)	なし
ユ	紹介した	しなかった									
R2	31 (100%)	なし									
R1	31 (100%)	なし									

(2) 地域の子育て支援の拠点化

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果									
<p>①親子が気軽に交流できる拠点づくり (継続)</p>	<p>【子育て支援センターにおける親同士の交流や相談事業の充実】 子育て拠点施設及び子育て支援センターにおいて、親同士の交流や相談事業を実施した。 ※新型コロナウイルス感染拡大ため、検温や手指消毒、来館者カードへの記入など予防策を実施しての開催</p> <p>●施設における事業実施状況</p> <p>○子育て拠点施設すまいるランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例講座 138 回実施 (延べ2,950 人参加) 内容：歌、絵本、折り紙、助産師相談、栄養士相談等 ・恒例、特別イベント 42 回実施 (延べ419 人参加) 内容：フリーマーケット、夏祭り、クリスマス会等 節分、春休みクイズラリー、ツイングクラブ 特別別版 <p>○子育て拠点施設あそぼって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例講座 133 回実施 内容：歌、ダンス、ヨガ、助産師相談、栄養士相談等 ・恒例、特別イベント 新型コロナウイルス感染症対策のため実施なし <p>○子育て支援センター[7施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事内容 歌、リズム体操、絵本、季節行事等 (各月3回程度) ・育児講座 235 回実施 ・子育て広場の利用 平均10人/1日 	<p>【園庭開放や地域との交流活動の実施】 子育て中の親子が気軽に集え、交流できるよう園開放日を設けた。交流活動では、高齢者をはじめ地域の人々と交流する中で、人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるよう努めた。</p> <p>●園庭開放や地域との交流活動の実施</p> <p>【幼保・ヨ】 園庭開放や地域との交流活動を積極的に実施したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 555 1928 679"> <thead> <tr> <th>ヨ</th> <th>実施した</th> <th>実施しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>13 (42%)</td> <td>18 (58%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30 (97%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ヨ	実施した	実施しなかった	R2	13 (42%)	18 (58%)	R1	30 (97%)	なし
ヨ	実施した	実施しなかった									
R2	13 (42%)	18 (58%)									
R1	30 (97%)	なし									

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び31 施設アンケート結果												
②子育て支援情報の発信(継続)	<p>【子育てに関する情報提供】 子育てに関する情報を提供した。</p> <p>●子育て情報メール配信(月3回+不定期) 配信件数 63件 主な内容 子育て拠点施設、子育て支援センターイベント情報、子どもの健康注意、手当等に関するお知らせ等</p>	<p>【子育てに関する情報提供】 メール及びホームページを活用し、園だよりの掲載、行事についてのお知らせ等を行った。(メールは、登録制で在園児保護者のみ配信)</p> <p>●子育てに関する情報提供 【幼保・ラ】 在所(園)に限らず、地域へ子育てに関する情報提供をした。</p> <table border="1" data-bbox="1249 475 1892 595"> <thead> <tr> <th>ラ</th> <th>提供した</th> <th>提供しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>23 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>28 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table>	ラ	提供した	提供しなかった	R2	23 (77%)	7 (23%)	R1	28 (90%)	3 (10%)			
ラ	提供した	提供しなかった												
R2	23 (77%)	7 (23%)												
R1	28 (90%)	3 (10%)												
④総合的な支援の推進(強化)	<p>【保育士等への各種支援の周知と実施】 必要により、各種支援事業に関する事業の改善を図った。 ※ 各種支援:子育て支援センターの一時預かり、健康相談、子育て相談、一人親への支援等</p> <p>●児童と常に接している保育士を活用し各種支援を周知した。 ・年度初めの所長・園長会議で各種支援、新規事業等について説明 ・保育士から保護者に対し、「NP講座」や「初めてのママ講座」を周知・参加勧誘</p>	<p>【保護者や地域への周知】 子育て支援センターや幼稚園・保育所(園)等における支援事業内容を見直し、保護者に周知した。</p> <p>【幼保・ル】 次の取組の中でどれだけ実施したか。 <u>アンケート項目</u> ・総合サポートシステムを中心とする各種支援事業について保護者に伝えた。(48%) ・必要な人に個別に声掛けをした。(61%) ・施設内に事業についてのポスター・パンフレット等を置いた。(74%)</p> <table border="1" data-bbox="1283 1070 1917 1190"> <thead> <tr> <th>ル</th> <th>3つ</th> <th>1・2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>15 (50%)</td> <td>14 (47%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>12 (39%)</td> <td>18 (58%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】 今後も引き続き、市の支援事業など特に内容の見直しがあったものは、積極的に周知していくとともに、保護者が安心して子育てができるよう随時支援事業の改善を図っていく。</p>	ル	3つ	1・2つ	なし	R2	15 (50%)	14 (47%)	1 (3%)	R1	12 (39%)	18 (58%)	1 (3%)
ル	3つ	1・2つ	なし											
R2	15 (50%)	14 (47%)	1 (3%)											
R1	12 (39%)	18 (58%)	1 (3%)											